

# 謹賀新年

## 平成31年 年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。平成31年の輝かしい新春を迎え、平成最後の香春町長として、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。また、日ごろから本町に対し多大なご支援・ご協力を賜り心から厚く感謝を申し上げます。

さて、平成の日本を振り返ってみますと、政治的には総理大臣の交替も激しく政権交代も行われ、安定したものとは言い切れませんでした。また、経済においてはバブル景気の崩壊から長く続くデフレ経済に至るまで、まさに変革期であったと感じています。香春町も、基幹産業の一つである企業の縮小や、高齢化が急速に進行し、町の人口も減少している状況です。そのような中、香春町は学校再編事業を進めています。開校は次

の元号になりますが、平成33年4月に香春町立義務教育学校が誕生いたします。これは、今日まで進めてきた教育の町づくりの再出発だと考えております。4小学校・2中学校が一つになり、勉学・スポーツに、子どもたちがにぎやかさを取り戻すことを考えると、香春町の将来が明るくなる気持ちでいっぱいです。また、昨年の9月に立ち上げた「知恵の輪委員会」が、香春町のこれからの考えたとき、どのような発想と知恵を生かしたまちづくりが出てくるのだろうかというのがもう一つの楽しみです。さらに国道201号の拡幅工事、国道322号バイパスの完成も近づき、何を行えばよいのか、個々の人の技能や感性がいきる「協働の町づくり」を考えております。また、

これからの農業施策についても、農業に携わる方々と話し合う場を設け、基盤整備や、集落営農で持続可能な農業を考え、後継者を育てる仕組み作りに取り組みたいと考えています。

外にその魅力を発信していきながら、集客人口を増やす取り組みを展開していきたいと思っております。最後に皆様と共に、住みやすい・住んでよかつたと言われる町づくりのために全力を傾注して頑張つてまいります。何卒変わらぬご支援ご協力のほどをお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



町長 筒井 澄雄

議長

水上 信一



あけましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。また、平素より香春町議会に対し温かいご支援とご協力を賜り、町議会を代表いたしまして心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、全国各地で自然災害が多く発生し、多くの方が尊い命や財産を無くしており、本町も何時そのような災害に見舞われるか分かりません。議会といたしまして、町執行部と連携し、予期せぬ災害に対し、町民を守るため様々な対応策を協議し住民が安心して住める町づくりを進めているところです。また、新年度予算で学校編成に伴う新築工事(事業費約40億円)も予定されていますが、さらに田川8市町村統一でごみ処理の新施

設の建設約300億円も進められます。この2つの事業は住民の生活にとって必要不可欠であります。町財政状況を考えますと、非常に厳しい町政運営が予測されます。議会といたしまして、町民生活に支障をきたさないよう今後とも議会運営を行ってまいれる所存でございます。

終わりに、本年も町民の皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

教育長

林 忠良



明けましておめでとうございます。平成31年の年頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、日ごろから香春町教育委員会に対し、温かいご支援とご協力を賜り、心から厚く感謝申し上げます。

さて、本町における児童生徒の状況につきまして、平成30年度の「全国学力・学習状況調査」の結果を見てみますと、今まで課題とされてきた「学校の決まりを守っていますか」の項目で、中学校では「守っている」の回答割合が全国平均を上回っています。また、「地域

の項目では、「当てはまる」の回答割合が全国平均を上回っています。これらは、学校・家庭・地域が一体

となり、子どもたちの育成にかかわっている成果だと思っております。さらに、郷土に誇りを持ち、香春町の歴史を調べることは、健全な児童生徒の育成に大きく寄与していると確信します。

香春町教育委員会では、平成33年4月開校する香春町立義務教育学校に向けて「学校再編計画」を進めてまいります。子どもたちの健全育成と、歴史ある香春町の歴史・文化を守り、教育を通じて「活力ある町づくり」を目指して取り組んでまいります。本年も町民の皆様のご指導とご協力をお願いいたします。新年のご挨拶とします。